

興味こそ、きみの本質。

高校生になると、部活に予習に塾に、自由な時間がぐっと少なくなりますよね。読みたい本がわからない、本を読む機会自体が減っちゃった……なんて人も。そんなあなたに、京都市下京図書館渾身のおすすめ本をご紹介します！ 勉強の息抜きに、通学のお供に、寝る前のリラックスタイムに。本はいつでも新しい世界にあなたを手招いています。

きみの行動はすべて分析されている!? 『10代からの社会学図鑑』

クリス・ユール他/著 三省堂
人間と社会のことならなんでも研究対象にする学問、それが社会学。わたしたちの何気ない行動も、実はきちんと分析され、理論になっている。社会を見る目が変わるかも。



選挙、行ったことある? 『若い有権者のための政治入門』

藤井 厳喜/著 勉誠出版
18歳になったら選挙で投票できる。でも政治なんて自分には関係ないよ。選挙に行ったらなにか変わるの? 選挙権がある人も、まだない人も、日本の未来を選択するのはきみたちだ。



高校生活を楽しむヒントは、数学にあり。『数学と恋に落ちて 未知数に親しむ篇』

ダニカ・マッケラー/著 岩波ジュニア新書
数学なんて見るのも嫌。恋に落ちるとかありえない! 大丈夫。この本は、そんな数学苦手系ティーンズのために書かれたのです。わかりやすい数学のコツはもちろん、ブレイクタイムには、悩み多い日々の乗り切り方や、試験のストレスに打ち勝つ秘訣などのコラムをどうぞ。



子どものころからの夢は「バッタに喰われること」。

『バッタを倒しにアフリカへ』 前野 ウルド 浩太郎/著 光文社
著者は無類のバッタ好き。空腹のバッタは緑色なら服でも食べると知った日から、バッタ研究の道へまっしぐら。しかし、現在の日本ではバッタの被害が少ないため、バッタに喰われることも、バッタの研究で食べていくこともできない。そこで、バッタが甚大な被害を及ぼすアフリカの砂漠国、モーリタニアへ、いざ行かん!



ものづくりの国、日本。

『日本の産業大事典』 藤田 晃之/監修 あかね書房
農業、漁業から小売業に建設業。ありとあらゆる産業がぎっしり詰まった一冊。授業や課題の参考資料としてはもちろん、将来の夢を考えるのにも役立つこと間違いなし!



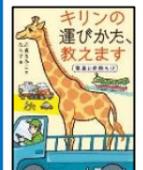
歴史という教科は文系科目だと思いませんか? 『明治日本の産業革命遺産 近代化のなぞとける』

小風 秀雅/監修 PHP 研究所
いいえ、「歴史」にはあらゆる側面からのアプローチが可能です。世界遺産としての歴史的建造物の中から、明治期の産業革命にクローズアップした一冊。教科書だけではわからない、いろんなドラマがあるのです。



キリンや鉄道車両、病院も! どんなものでも運びます。『キリンの運びかた、教えます』

岩貞 るみこ/文 講談社
ネット通販がぐっと身近になった現代、日本はもちろん、世界中からモノが運ばれてくるようになった。単にあちらからこちらへモノを移動させるだけじゃない、きみの知らない物語がそこにある。



Don't worry () the results () your test. 空欄を埋めよ。答えは本書 p.75。『前置詞キャラ図鑑』

関 正生/著 新星出版社
前置詞。それは英語学習者を阻む壁。選択問題で頻出だけど、なんとなく丸暗記……。そんなきみにぴったりなこの本! 前置詞をキャラクター化して、漫画つきで紹介しているから、楽しんでめくっているうちに、前置詞マスターに!



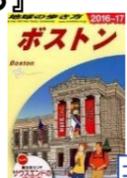
京都、そこは文学の街。

『京都文学散歩』 京都新聞出版センター
自分たちの街を描いた小説があるって、なんだかとてもロマンティックじゃありませんか? 古今東西、京都は様々な物語の舞台となってきました。そんな本を一気に紹介したのが、このガイド本。京都人しか味わえない味違った文学の楽しみ方、教えます。



研修旅行の事前学習に! 下調べで楽しみ倍増!

『地球の歩き方』各国版 ダイアモンド・ビッグ社
『マレーシア語 マレーシアを旅する』 三修社
『観光コースでないワシントン』 福田 直子/著 高文研
『オーストラリアで大の字』 小栗 佐多里&トニー・ラスロ/著 ヴィレッジブックス



下京図書館はいつも For High School Students

やっぱり、小説。

千年前から変わらないもの、それは人の感情。

『百人一首という感情』 最果 タヒ/著 リトルモア
新進気鋭の若手詩人による百人一首の読み解き方。受験のように正確に意味だけを訳すのではなく、言葉の向こう側にいる詠み手の気持ちや、平安の時代から変わらない人間の想いを描く本。たぶん千年前の人も今でいう「エモい」を感じたりしたんだろうね。いとをかし。



僕は運命を変える。幸せな家族の日常を取り戻すために。

『ブレイブ・ストーリー』 宮部 みゆき/著 角川書店
巨は小学5年生。ゲームが好きな普通の少年。だけどある夜、父さんが家を出て行った。そこから巨の日常は壊れていく。母さんが巨を道連れに心中を試みた夜、巨は別世界へと旅立つ。その世界を統べる運命の女神様に会えば、どんな願いでも叶えてくれるという。なら僕は、僕の人生を取り戻す。運命を変える旅は、巨のなにを変えるのか。



俺が仕事をすると、いつも降るんだ。

『死神の精度』 伊坂 幸太郎/著 文春文庫
クールでどこか奇妙な男、千葉。彼の仕事は、「死神」。とはいえ、鎌を持ってはいないし、黒ずくめの服装でもない。CDショップに入りびたり、ありふれた名字を持ち、受け答えがちょっと妙で、他人に素手で触らない。どこにでもいそうな印象に残らない男、それが死神というものだ。



優しさが、奇跡を起こす。

『図書室の神様たち』 櫻 いいよ/著 小学館文庫
クラス内のいじめにも、両親の不和にも気づかないふりをしてきた爽風。高校の図書室で、顔に痣のある不思議な男子生徒に出会う。近づかない方がいいと思うのに、繊細で思いやりある彼にどんどん惹かれて……。 「この世界の神様になりたい」と呟く彼の秘密が明かされると、爽風自身も変わり始める。



未来を先取りせよ。

『スタートボタンを押してください』 D・H・ウィルソン&J・アダムズ/編 創元 SF 文庫
ゲームがモチーフという新手法の観点で、注目株の作家の短編を集めたアンソロジー。VR やホバークラフトなど、SF 作品の道具が現実となりつつある今、この本で描かれる世界にもリアリティを感じる時代になってきた。SFには未来の発明へのヒントがあふれている。



ここは三月の王国。

わたしたちはここから出られない。『麦の海に沈む果実』 恩田 陸/著 講談社
「三月以外の転入生は破滅をもたらす」。二月最後の日に転入した理瀬。正体不明の校長先生との真夜中のお茶会、密室からの消失、淡い恋の予感、揺れ動く自我。不思議な寮生活のはじまり。



「死ぬな、殺すな、とらわれるな」。

『ジョーカー・ゲーム』 柳 広司/著 角川書店
第二次世界大戦前夜の大本営。決して歴史に残らないスパイ集団があった。その名も「D機関」。国境も法も倫理をも超越し、自らの並外れた能力だけを武器にして、彼らは大戦の薄闇の中を駆け抜ける。



永遠の子供たち、繰り返す毎日。僕らの居場所は、空という戦場だ。

『スカイ・クロラ』 森 博嗣/著 中央公論新社
決して大人になれない「キルドレ」たち。彼らの仕事は戦闘機に乗りこみ、戦争をすること。空を飛ぶことでしか生の実感を得られない彼らの生き方ははかなく、そして美しい。読み終わるころにはきっと、表紙のような透き通った青い空が目の前に広がっている気持ちになるはず。



もっと読みたい! おすすめの本、なにかある?

『きみに贈る本』 中村 文則ほか/著 中央公論新社
人気作家が若い読者のために推薦する本を紹介。テーマや悩み別に本を探すこともできるから、今の気分に合わせて本をチョイス。



『今すぐ読みたい! 10代のための YA ブックガイド 150! 2』

金原 瑞人、ひこ・田中/監修 ポプラ社
世の中、退屈な本だけじゃない。視点を変えれば、きっときみの一冊と、運命の出会いがある。



下京図書館長からの挑戦！

『〇〇のひみつ 学研まんががよくわかるシリーズ』 学研プラス

対象は小学生でも、意外と高校生が読んで「なるほど」と納得できる内容になっており、大いに楽しめる。多くのテーマが用意されているので、図書館に来て、「〇〇のひみつ」の本を手にとってみよう。身の回りのものに関する知識が大幅にアップすること間違いなし。



『今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい〇〇の本』 日刊工業新聞社



様々な種類のものを図書館が用意しています。理工、経済、その他幅広い分野での「あなたの知りたい」を後押ししてくれます。

(例で取り上げたのは、化学分野の1冊)

『かがくのとものもと 月刊科学絵本「かがくのとも」の50年』 福音館書店

「かがくのとも」は創刊50周年を迎えた月刊の科学絵本。そして、「かがくのとものもと」は、601作品すべての表紙とあらすじや、「かがくのとも」ができていく過程、第一人者たちの語る科学絵本観などを収録した記念誌です。「かがくのとも」を知っている、知らないに関わらず、手に取って、科学の原点に触れてみてはいかがでしょうか。



京都市下京図書館

下京区新町通松原下る富永町 110-1
堀川高校から徒歩12分・自転車5分！
五条駅近くでアクセス便利！

京都市図書館では、ティーンズ向けの本から、各国の小説、専門書、マンガ、癒しの絵本など、さまざまな資料を揃えています。きっとお気に入りの一冊に出会えるはず。

謎を解くのは名探偵、それともきみ？

「さて、謎解きを始めましょう。」

『少年少女のためのミステリー超入門』 芦辺 拓/著 岩崎書店

人気の小説は数あれど、やっぱりミステリーの人気は不動。とはいえ、ミステリーと一口に言っても、どこから読み始めればいいのか？ なんだかややこしそう。そんなあなた、こんなガイド本はいかが？ 古今東西の有名作品を紹介。もちろん、謎解きの核心部分は伏せてあるから、ネタバレなしで安心。さあ、謎解きの愉しみ、存分に味わって。



夏が過ぎ、静かな夜長の季節がやってきた。読書に最適のこの時期こそ、精巧で甘美な謎はいかが？

推理小説の黄金時代より読み継がれてきた名作から、今年出版されたばかりの新感覚ミステリーまで、お好みの一作を心ゆくまで味わって。

さて、ミステリーの醍醐味といえば、作者対読者の頭脳戦。きみは作中の名探偵よりも先に謎が解けるか？

その鍵を開けられるのは、この名探偵だけ。

『鍵の掛かった男』 有栖川 有栖/著 幻冬舎

大阪・中之島の洒落たホテルで謎に満ちた男が死んだ。素性も過去も死の理由さえも不明。殺人か、自殺か？ その過去にはいったい何が？ 物理と精神、二重の密室に挑むのは「臨床犯罪学者」の火村英生准教授と推理作家の有栖川有栖。斎藤工×窪田正孝のペアでドラマ化もされた話題のバディ作品、傑作長編！



究極の安楽椅子探偵、登場。

『秘密をもてないわたし』 ペニー・ジョエルソン/著 KADOKAWA

わたしは重度の脳性まひで動くことも話すこともできない。できるのは話を聞くことと、考えることだけ。だから、一番口の堅い相談相手として、みんなわたしにこっそり秘密を打ち明ける。近所の青年が何者かに殺された事件から間もないある日、わたしの世話をしてくれているサラの彼氏ダンが、人を殺したと愉快そうに明かした。ほんとに彼が人を殺したの？ そのうえ、サラまで行方不明になって……

新本格の真髄、ここに。

『十角館の殺人』 綾辻 行人/著 講談社

新本格推理小説作家の二本柱と言えば、前項の有栖川有栖とこの人、綾辻行人。デビュー作でもある本作品を皮切りに、美しくも恐ろしい館にまつわる謎を描いた「館シリーズ」が始まる。孤島という密室、奇妙な建築物と過去の事件、名探偵たちの名前をニックネームに持つ登場人物たち。さて、舞台は整った。殺人事件の幕が上がる。



事故？ 自殺？ はたして真相は…!?

『この春、とうに死んでるあなたを探して』 榎田 ユウリ/著 筑摩書房

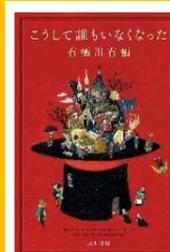
中学時代の担任の先生が死んだ。交通事故だった。そのはずだった。なのに23年も経った今頃、先生を殺したのはお前だ、と当時の同級生たちに脅迫めいた手紙が届いて……。僕たちは真相を探すことに。



一人ずつ消えていく。次は誰？

『そして誰もいなくなった』 アガサ・クリスティー/著 早川書房

言わずと知れた、ミステリーの女王が著した古典名作。必ず、必ず、誰かからネタバレ爆撃を食らう前に読んでください。読書の醍醐味をこれでもかと味わえる展開に、結末の鮮烈な驚き。これぞ推理小説。本作品がお好みなら、同じくクリスティーの『アクロイド殺し』もお気に召すかも。



『そし誰』の後には、パロディ作品もいかが？

『こうして誰もいなくなった』 有栖川 有栖/著 KADOKAWA

ミステリーにはパロディ作品が多いが、なかでもこの作品は、質が高く、楽しいもののひとつ。クリスティーの原典をひねった展開に、『そし誰』履修済みの読者なら唸るに違いない。表題作以外にも、ちょっと奇妙だけれど、最後に納得、味わい深い短編のフルコース。おすすめの一作は「本と謎の日々」。